

平成27年度

鹿島中学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 末永公美子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

在校生は約300名と市内で2番目に多い生徒数である。

1年生は朝の読書(朝読)の時間を設けており、通常の貸出は月曜から木曜の昼休みにのみ対応している。学級文庫の入れ替えは図書委員が図書室から本を選び、毎月一回一斉に行っている。

平成27年度生徒数

1年	2年	3年	合計
88人	103人	106人	297人

(平成27年度12月末時点)

学校派遣日数 月・火・水曜日 週3回

図書担当職員 宮原千津先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 12,894冊以上

※図書台帳の登録番号が昭和54年に一新しており、それ以前の蔵書も混在していることから廃棄と台帳整理を継続して処理しているところである。

今年度受入冊数(3月末時点) 780冊

うち 市費購入冊数 355冊

うち 杉並文庫購入冊数 162冊

うち 寄贈資料点数(CD含む) 263点

2 平成27年度の課題及び目標

課題① 背ラベルの訂正

古い背ラベルには2次区分以下が記載されていないもの、著者記号が全く書かれていないものも多く、書架整理などの作業に支障をきたしている。借りた本は借りた本人が棚に戻すように指導されてきたようだが、背ラベルを頼りに戻すということができない。

→目標 生徒の利用が多い分類の本から優先してラベルを直していく。本年度中に9類は終了させる。

課題② 図書台帳の整理

昭和54年に登録番号が一新されている、廃棄の記録がない、紙媒体である…などのことから、実際に図書室にある本を照らし合わせながら台帳を整理する必要がある。

→目標 紙媒体の台帳をパソコンで管理できるようにデータを入力していく。

課題③ 図書室作業のマニュアルの作成

配置一年目である昨年は手探りで作業を進めていた。背ラベルなど市立図書館に合わせて一新した作業もあるため、後年引き継ぐためにも作業マニュアルは必要である。

→目標 マニュアルを作る

いずれも基盤は今年度中に整え、引き続き作業していく。

3 活動の方針

ラベル、台帳整理などとともに、廃棄も引き続き進めたい。生徒がよく利用するスペースは明るくなったので、今年度は壁面の掲示や飾り、図書便りの作成などを生徒主導で進めやすくなるよう、環境を整えていきたい。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	学校図書館支援員活動内容	生徒図書委員活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・予算検討と管理の確認 ・担当教諭との打合せ ・新入生への図書室利用に関わるオリエンテーション ・貸出準備 ・図書便り号外発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期図書委員オリエンテーション ・貸出開始 ・学級文庫開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校図書館支援会議
5月			<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校図書館支援会議
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書費購入分の選書支援 ・杉並文庫選書支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書便り第1号発行 ・学級文庫入替 	
7月		<ul style="list-style-type: none"> ・図書便り第2号発行 ・学級文庫入替 	
8月			<ul style="list-style-type: none"> ・第3回学校図書館支援会議
9月		<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫入替 ・前期図書委員会（前期反省） ・図書便り第3号発行 ・後期図書委員オリエンテーション 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊図書配架 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫入替 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区立図書館視察 ・第4回学校図書館支援会議
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書費購入分の選書支援 ・次年度の購入雑誌の選定支援 ・読書祭り開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書便り第4号発行 ・学級文庫入替 	
12月		<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫入替 ・生徒会専門委員会 ・図書便り第5号発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回学校図書館支援会議
1月			
2月		<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫入替 ・図書便り第6号発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回学校図書館支援会議
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書便り号外発行 ・新年度準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期図書委員会（後期反省） ・学級文庫返却 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回学校図書館支援会議

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

《基本業務》

雑誌の受入・装備 寄贈本の受入・装備 書架整理 季節の飾りつけ、牛乳パックを活用した棚底上げバーなどの作成 作業マニュアルの作成 廃棄 9月以降、月初めに「ほけんしつ文庫」入替

4月

- ・バックヤードの整理開始。入口に近い棚は全面的に空けて、小物を置くスペースにした。奥に昨年度処理しきれなかった廃棄予定の本をまとめておく。
- ・新年度に向けて廊下・室内の壁面づくり。
- ・学級文庫、個人貸出は4月20日より開始。それに合わせて、利用の仕方・マナー、雑誌案内などを盛り込んだ図書便り号外「書棚のスキマ」を作成。
- ・震災後に寄贈されていたCDの貸出を開始する。一人1点、学校図書館支援員がいるときのみ貸出・返却を受け付けることとした。
- ・新入生オリエンテーション

1年生の1クラスごとに、国語の時間を利用してオリエンテーションを行う。

1クラス目は10分程度の利用説明ののち自由に図書室を見てもらったが、2クラス目からはブックトークを交えた利用案内を20分程度行い、後半は自由に図書室を見てもらうことにした。

ブックトーク資料『日本は世界で何番目?』シリーズ、怪談絵本シリーズなど、本を20冊程度選び、テーブルに並べた。

- ・先生方へ向けた図書室・市立図書館利用の案内を作成、配布する。

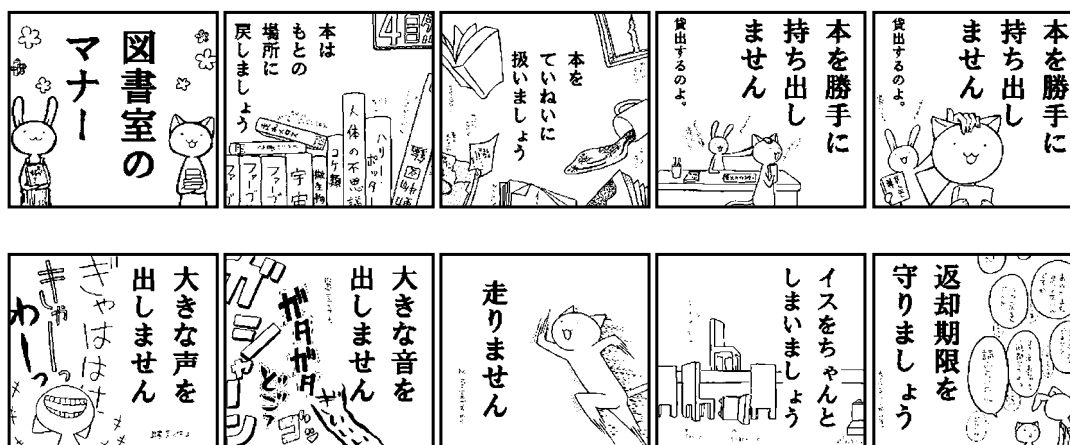
5月

- ・新刊雑誌の配架用にマガジンカバーを購入。
- ・図書便りを図書委員主導で作成できるよう、案を練る。担当教諭と相談の上、記事のテーマをあらかじめ用意しておき、生徒に記事を分担して作成してもらうことにした。作成担当はその月の図書当番が行う。基本的には月一回発行とする。
- ・課題図書案内を模造紙に大きく作成。図書委員に手伝ってもらう。



課題図書案内
作成風景

- ・図書室利用のマナーをイラストに起こした。図書室内と、多目的ホールの杉並文庫のテーブルにそれぞれ貼り付ける。



- ・生徒へ今年度購入する図書についてアンケートを実施。

6月

- ・6月1日図書便り第1号発行。
- ・9類の本棚の整理。9類においては日本の作家と外国の作家で棚を分けていたのだが、生徒が本を返却する際に混乱が見られたため、詩歌・全集以外の9類は全てまとめることとした。詩歌、全集は引き続き棚を別にする。
- ・テーブルの配置を大きく見直した。以前のようにテーブルを2～3個あわせて大きな広いスペースを作るのは2か所だけにし、黒板に垂直に長く2列を配置。
- ・特別支援クラスの生徒が切り絵を作ってくれたので、廊下に掲示した。

7月

- ・7月1日図書便り第2号発行。
- ・図書室に笹飾りを展示。利用者が自由に短冊を書けるように準備した。
- ・杉並文庫の納品。登録・装備などを行う。
- ・夏休みの本の貸出を行う。一人2冊まで。

8月

- ・図書費で購入する、先生からのリクエストを集計、発注。
- ・杉並文庫の受入が終了したので3年分の目録を作成した。
- ・地元の道の駅やサービスエリアなどから南相馬市や福島県に関する無料のパンフレットをもらい、「地域の資料」のファイルを作成した。

9月

- ・9月より「ほけんしつ文庫」を設置。
保健室にある生徒が利用する本を見たところ、だいぶ古いものしかなかったようなので、保健の先生に学級文庫のようなコーナーの設置を提案。学級文庫と同じように毎月初めに20冊ずつ入れ替えすることに決定。保健室で読むことを目的とし、ほけんしつ文庫の貸出し

ない。

- ・ほけんしつ文庫と図書室に「読んだ本のコメントを書きませんか？」の用紙と回収ボックスを設置。（写真右）



10月

- ・後期図書委員1回目の学級文庫入れ替えの際に、背ラベルの見かたや書架整理について一通り説明する。
- ・総合学習での図書室利用が多く、図書室の利用マナーをその都度説明した。
- ・読書週間に合わせて、昨年に引き続き11月に読書祭を行うことを決定する。企画案を作成。図書委員に読書祭の概要を説明し、ポスターを配付した。
- ・「図書委員作業手引き」を作成。配架図、本の貸出・返却の流れ、図書委員の仕事について、学級文庫の入れ替え、書架整理、図書室のマナー、杉並文庫などについてなどをそれぞれ詳しく解説した。

11月

- ・読書祭り開催。

11月2日（月）～11月30日（月）貸出分まで、応募締め切りは12月2日（水）

抽選日：12月7日（月）

本を借りるか本の紹介文を書くかして、1冊につきスタンプを1個集める。スタンプが10個たまると景品に応募可能。景品は鹿島中学校で購読している雑誌の付録、手作りの豆本や和綴じのメモ帳などをあてた。

応募総数：8

募集を締め切った後で、数名の生徒から規定数のスタンプを集められなかったとの声が届いた。昨年は5冊分ですぐにスタンプが埋まってしまい、開始して早々に終わってしまった生徒が多かったため倍にしたのだが、普段本を借りない生徒を呼び込むことを主だった目的にするならば、ハードルは低い方が良いのかもしれない。読書祭を開催した11月の貸出冊数は2年生を中心に爆発的に伸び、お話し会などの効果もあって、普段図書室に足を運ばない生徒もだいたい来ていたようである。今年は10月には生徒のリクエストを取り入れた新刊を配架できたため、読書祭の前から緩やかに貸出冊数は増えている。（年間貸出冊数集計表参照）

読書祭り・同時開催1 「すえながさんの楽しいお話し会」

お昼休みに5分～10分程度で読み聞かせかブックトークを行う。

期間中 7 回開催。以下開催内容。 ※ (A) 図書室来室者数 (B) お話し会参加人数

11 月	演 目	(A)	(B)	
2 日 (月)	森絵都作『ショート・トリップ』より、 「究極の選択」(集英社文庫) 5 分 末永私物	55	20	読書祭りの初日ということもあって来室者数が多く、 おはなし会を聞く生徒も多かった。
9 日 (月)	紙芝居「ちからたろう」 15 分 中央図書館より貸出	28	7	所要時間を確認していなかったため予鈴にかかって しまった。紙芝居に興味を持つ生徒も少なく、話の途 中で出ていくことも。最後まで聞いてくれた生徒が 7 名。
10 日 (火)	シェイクスピア『ロミオとジュリエット』より 7分 鹿島中の蔵書が貸出中のため小 高中のものを使用	36	15	本日の演目を見て、昼休みが始まる前から反応あ り。どういう物語なのかを簡単に説明しながら第2場 の「ああ、ロミオさま」のあたりを朗読。シェイクスピア についても少々紹介。
17 日 (火)	渡辺則明著『福島あるある』 7分 鹿島中蔵書	21	9	本書の中から方言・納豆消費量日本一などのあるあ るエピソードをいくつか紹介。さいごに本書の「福島の 名前の由来」を話しやすくまとめ、発表した。どのネタ も「そうだったんだ」と反応あり。
18 日 (水)	岡田淳著『夜の小学校で』 5分 鹿島中蔵書	41	10	初めは少なかったがどんどん人が増えた。最終的に 耳を傾けてくれた生徒が 10 人ほど。
25 日 (水)	早川いくを著『へんないきもの』よ り「トビイカ」「クマムシ」「ラッコ」を 紹介 7分 末永私物	35	22	内容が内容だけに男女ともにかなり受けが良かった。 初めはお話し会用に用意した椅子には誰も座ら なかったが、読み始めると次々に埋まっていった。笑 い声も時折上がり、「おしまい」というとすぐに方々か ら拍手が。帰り際に「すごく面白かったです」と言って くれた女子も。
30 日 (月)	夏目漱石著『吾輩は猫である』 5 分 鹿島中蔵書	37	10	次回図書便りの打合せのため5分遅れてスタート。 時間もなく駆け足でお雑煮のエピソードを読んだため か、最後まで聞いてくれた人は少なかった。
	(お話し会期間合計人数)	253	93	

お話し会期間中の来室者数：1 日平均 3 7 人 お話し会参加人数：1 日平均 1 4 人

読書祭り・同時開催 2

「秋の夜長におすすめ ミステリ小説フェア」

蔵書から推理小説を 100 冊集めたコーナーを設置。

・来年度購入する雑誌のラインナップ決定。

1 2 月

・企画 1 「図書室に年賀状をくださ〜い♪」(1 2 月〜
1 月)

読書祭りの景品があまったので、それをさらに利用しての企画。はがきサイズの画用紙に年賀
状を書き、応募してもらう。

・企画 2 「冬本 冬におすすめの本のコーナー」(1 2 月〜3 月)



企画「ミステリ小説フェア」

1月

- ・年賀状企画に応募された年賀状を掲示。
小正月が過ぎた後で景品の当選者を決定する。応募が重複した景品はなかったため抽選は無し。希望者には景品のほかに図書室オリジナルの年賀状をプレゼントした。
- ・バレンタインコーナー設置。(1月後半～2月前半)
お菓子作りの本を集めた。



年賀状企画応募作品

2月

- ・図書便り第6号発行
- ・学級文庫専用図書を選出。別置サインを作り、一般書架とは別に保管する。別置サインは「学級文庫」と印刷して背ラベルの上に添付した。学級文庫入替時の混雑、普段あまり利用されない図書の利用、複本の置き場所や利用等々の問題解決をはかる。今回は初めての試みのため各クラス20冊選出するうちの半分を専用図書から選ぶように計画し、蔵書から約170冊準備した。いつも時間を押していた生徒の選書作業がスムーズに進み作業効率が上がったため、担当教諭と相談の上、来年度からは学級文庫には全て学級文庫専用図書の中から選ぶように変更する。多目的ホールの杉並文庫を3月中に図書室に入れるので、多目的ホールの棚を学級文庫専用図書の置き場所にする。来年度からは新刊の選書でも学級文庫専用図書の内容充実を図る。学級文庫専用図書の目録を作成。
- ・「贈ることば」コーナー設置。格言、名言集を集めた。(2月後半～3月)

3月

- ・生徒向け・先生向けの図書便り号外をそれぞれ発行。一年間の大まかな集計(貸出冊数・来室者数など)、先生向けには1年間の活動の様子を加えて報告する。
- ・多読賞決定。各学年1名ずつ、一番本を読んだ生徒に賞状と記念品(手作りブックカバー)を贈った。図書室の掲示では各学年の1位～3位、全学年での1位～3位を発表した。
- ・多目的ホールの杉並文庫を図書室の一般配架に混ぜた。主に9類の棚の廃棄作業を進めて配を見直す。ホラー小説、詩歌、文学全集、その他文集等については引き続き別枠とし、わかりやすいよう表示サインも改めた。

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・選書のアドバイス・本の分類の確認。
- ・展示物のアドバイス。
- ・季節飾り・展示用スタンド(ポップスタンド・ブックスタンド)の作成。
- ・配架アドバイス。(8月来校)

6 学校図書館貸出実績

(1) 年間貸出冊数

①個人貸出冊数 (冊)

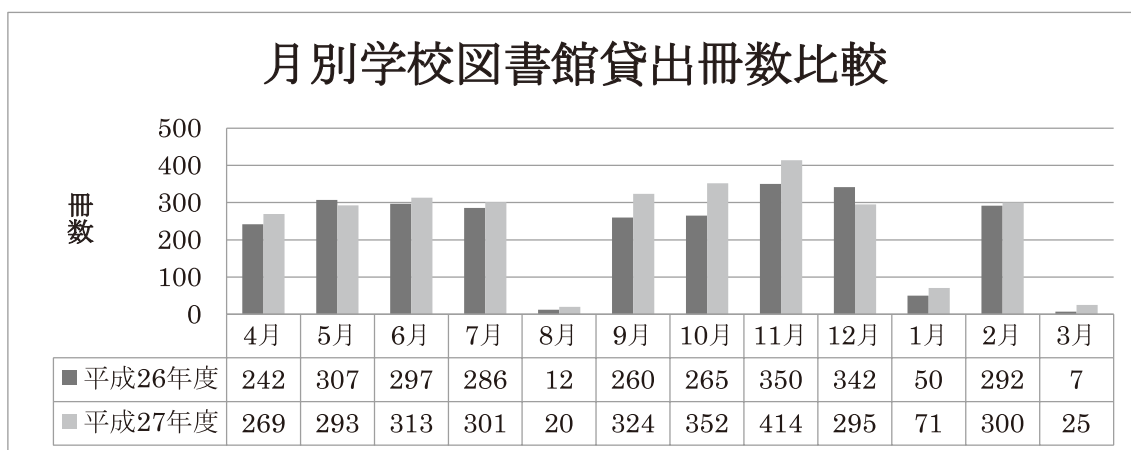
	1年	2年	3年	総合計
年間合計	191	482	157	830
一人あたり	2.17	4.68	1.48	2.79
昨年度貸出冊数	317	150	57	524
昨年度比	60%	321%	275%	158%

②学級文庫・ほけんしつ文庫年間貸出冊数 (冊)

	1年 (3クラス)	2年 (4クラス)	3年 (4クラス)	ほけんしつ文庫 (9月から開始)	総合計
学年合計	480	640	640	120	1,900

※ひとクラスにつき毎月20冊ずつ入替るように決めている。5月・8月・1月・3月は長期休業の前後のため学級文庫の入替をしない。

(2) 学校図書館貸出実績比較



7 本年度の成果及び来年度のに向けた課題

(1) 本年度の成果

読書祭りのほかに七夕の短冊、年賀状企画など生徒が自由に参加できるイベントを増やせた。読書祭りではお話し会を取り入れ、生徒と対面する機会を積極的に取り入れることができたと思う。気軽に話しかけてくれる生徒も増え、図書室の雰囲気が明るくなった。

(2) 来年度に向けた課題

生徒が図書室により多く足を運んでもらうための対策を考えたい。

貸出期限を気に留めない生徒が多い。身近な存在である図書委員からのアプローチが常態化すれば意識しやすくなるのではないかとと思われるので、図書委員と連携してできる対策を考えていきたい。